



INFORMATION MAGAZINE THE JOURNAL

ザ★ジャーナル!!

National Hospital Organization Okayama Medical Center

Vol.5
No.1

やさしさ便り～岡山医療センターの今

地域医療支援病院
がん診療連携拠点病院

岡山医療センターの理念

人にやさしい病院をめざして
-Human Friendly Hospital-

- 1 患者さまにやさしい病院を目指します
- 2 病院で働く人にやさしい病院を目指します
- 3 地域の人にやさしい病院を目指します

CONTENTS

- 2 特集 眼科
眼科の紹介
- 3 センターNEWS
新任職員の紹介
- 8 開院記念日特集
- 9 看護学校通信
- 9 リソースナース室通信
- 10 がん患者サロンのお知らせ
- 10 地域医療連携室 連携診療施設紹介
- 11 健康レシピ
- 12 TOPICS!
- 12 編集後記

表紙写真：看護の日 2010.5.12
撮 影：近藤 博行

眼科の紹介

4月から2名の新任の先生をお迎えしました（江木邦晃医長と尾嶋有美医師）。新任といっても、お二人ともベテランの域に達した立派な先生たちです。常勤医師が3名で、外来スタッフが2名という状況は、（眼科の）世界ではちょっと考えられません。何はともあれ、皆で力を合わせてよい仕事をしたいと考えています。

眼科医長 大島 浩一

江木の着任1ヶ月の感想

眼科医師 江木 邦晃

3月までは、大学病院の伝統が残っている病院に勤務していましたので、眼科全般を網羅するように努めてきました。症例数の多い白内障、緑内障は常に最新の方法を心がけていました。24年前に始めた硝子体手術も適応の拡大、安全性の進歩で症例数が増え、網膜剥離は緊急硝子体手術が当たり前になりましたし、糖尿病網膜症も良い視機能の維持のために早期手術の時代になっています。最近はこの分野を一番の専門ということにしております。当院でも25G硝子体手術の態勢がやっと整い、一息つきました。角膜移植もはや2例予約待ちを受け付けています。個人的に一番うれしいのは、昔から一番苦手な腫瘍を大島先生が得意とされていることです。腫瘍に対する丁寧な処置を、他の疾患にも適応されており、あらためて勉強させていただいております。尾嶋先生は、単純な外科的発想しかできない私に、網膜疾患の深い内科的考察をいつも示唆してくれます。3人しかいませんが、協力すれば何でもできる気にさせてくれた1ヶ月です。

尾嶋のつぶやき

眼科医師 尾嶋 有美

広く眼科一般の診療を手掛けていますが、かつて岡山大学医学部眼科学教室で加齢黄斑変性などの黄斑疾患の診療や研究に携わっていたご縁により、眼底疾患、特に黄斑疾患を専門とするようになりました。黄斑というのは網膜の中心部のことです。最近になり黄斑疾患の治療方法が大きく変わりました。すなわち糖尿病網膜症や網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫、あるいは加齢黄斑変性を治療するために、抗VEGF抗体を眼球内に注射する（硝子体内注射）という治療法が広く行われるようになったのです。これらの患者さんを取り扱うに際して、まず専門的な検査を行い、治療適応を的確に決定しなければなりません。そのうえで、上述のmedicalな治療を、前任地と同様に行っていききたいと思います。

また、当センターは小児医療にも重点がおかれていることから、未熟児も多いので、未熟児網膜症の診療にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。



眼科外来の皆さん：右から尾嶋医師、江木医長、森田看護師、大島医長、酒井視能訓練士



— 新任職員の紹介 —



院長 三河内 弘

本年4月1日に前青山院長の後任として院長を拝命いたしました。平成16年の独立行政法人化以来、地域完結型医療システムの中で急性期病院として地域の皆様方のご協力を得ながら当院に課された役割を果たす努力をしております。当然第一に期待されるものは急性期病院として地域の方々から信頼される質の高い医療を常時提供することです。然しながら未だ十分に期待にお応えできていない事も事実です。最も大きな問題は救急入院の要請があった際に病床が満床で患者様の受入れが不可能なことが時に発生している事です。救急患者様受入れを常時可能とするため病床確保の努力をしています。現在平均在院日数は約13日、病床稼働率は約96%ですが、県南東部医療圏域では回復期病床など所謂後方病床がやや不足気味なこともあって、短期間でこれ以上の平均在院日数の短縮は困難な状況にあります。このため来年度は新病棟を建設し、岡山市立金川病院の病床の一部を当院に移行して救急患者受入れの改善を図りたいと考えています。

最近「医師不足」「医療崩壊」「安全・安心の医療」などの言葉がマスコミを賑わせていますが、当院の役割として次世代の医師を養成することも重要な役割と考えています。また若い医師・看護師だけでなく、一時現場から離れたものの、再度現場復帰を目指す医師・看護師の方々も医療技術のトレーニングが出来る研修施設の開設も予定しています。また職員が少しでも働きやすくなるように来年度は

新病棟設置に伴って保育所の拡張整備も予定しています。

最近政府の事業仕分けでも国立病院機構のあり方が問われています。先にも記したように地域における当院の役割は第一に入院医療を主体とした急性期を担う医療機関であり、また医師、看護師などの医療従事者の養成も重要な役割です。質の高い医療を提供するためには臨床研究も欠かせません。幸い当院には臨床研究部が設置されており、これの充実もはかりたいと考えています。

しかしながら平成16年独立行政法人へ移行当時350億円あった負債がなんとか250億円程度にまで減少したとはいえ、尚今後数年間は毎年約20億円の返済を義務付けられた中で前述いたしました多くの残された課題に取り組まなくてはなりません。このためなお当分は非常に困難な病院運営を強いられることに変わりはありません。

医療を取り巻く環境は大きく変化していますが、医療に求められる本質が変化することはありません。常に「人にやさしい病院」を当院の理念として地域の方々から信頼される医療の提供が出来るよう今後も努力をまいりますので皆様方のご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。





副院長 東 良平

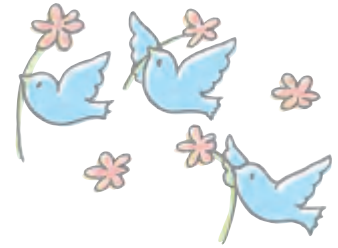
新年度の人事異動で副院長を拝命しました。

前青山院長の下で、当院は機構病院としてめざましい発展を遂げました。それを引き継がれた三河内新院長をもち立て、さらなる当院の発展に寄与したいと願う次第です。そのためには、患者さまを中心としたチーム医療を提供し、安全な質の高い医療の構築を実現することが必要と考えています。

様々なイベントが目の前に迫ってきています。直近では、病院情報システムの更新がスムーズに進むことが必要で、この記事が載る頃には更新されたシステムで診療が行えているものと確信しています。

新病棟の建設、運用に向けての準備、国立病院総合

医学会の主催施設としての準備、病院機能評価v6.0受診に向けての準備、金川病院の病院管理へ向けての準備などイベントが目白押しです。我々の診療に直結しており、達成できたときの喜びは大変大きいものと思います。皆様のご協力を頂き、一步一步、実現していきたいと思



統括診療部長 佐藤 利雄

今年も新緑の季節を過ぎ初夏を思わせる頃となりました。

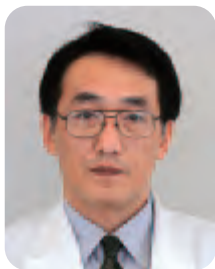
本年4月より、統括診療部長を担当させていただくことになりました。これまで呼吸器内科の診療の他に、副統括診療部長として主に内科系診療の統括と診療部全体の教育・研修等を担当してまいりましたが、この度から診療部全体の統括を担当させていただきます。

当院は、総合病院として診療のさらなる充実につとめておりますが、お蔭様で全診療科においてより高度な医

療を提供出来る体制になりつつあります。さらにより多くの医療機関との診療連携も進展中です。救急受け入れが一部滞りご迷惑をおかけすることもあります。予定の新病棟増築で解消出来るものと思っています。

高度先端医療と地域医療連携を縦と横の糸として、岡山の地でなくてはならぬ病院であるべくさらに努力してまいります。診療の向上に、甘口、辛口、スパイシーなど意見をお待ちしております。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。



臨床研究部長 松原 広己

前任の山内芳忠先生の退職に伴い、5月から臨床研究部長を拝命いたしました。診療の場である当センターで、“研究”という若干奇異な印象を持たれるかもしれませんが、医学の多くの分野には未解決の問題が山積しています。ガンや難病はもちろんのこと、脳卒中や心筋梗塞のような一般的な病気でも、より有効な治療の開発のためには、大学の研究室での研究ばかりでなく、実地診療からのデー

タのフィードバックが不可欠です。新薬開発のための治験などもこの研究事業の一環です。もちろん当院単独でできることには限界もありますので、国立病院機構の他の病院や、岡山大学をはじめとする他の研究機関とも連携し、有意義な情報発信を目指さねばなりません。循環器科科長も兼任しつつのことですので、いきなり飛躍的な発展ともいえないでしょうが、微力を尽くす所存ですのでご協力のほどをなにとぞよろしくお願い致します。



岡山看護学校 副学校長 西田 敦子

4月1日付で、前任の安井副
学校長の後任として着任いたしま
した西田敦子です。私は平成15
年から3年間、教育主事として在
籍しておりました。当時、前学校長青山先生の斬新な発
想とリーダーシップにより、大型校になって間のない学校
をさらに大きく1学年120名の看護学校へと計画を進めら
れました。一躍話題の学校となり、かなりの不安は有りま
したが、ただただ青山先生のパワーに押されながら準備

をしておりました。その後も、岩国看護学校、愛媛病院
の異動先で岡山医療センターの飛躍し続けるパワーにい
つも驚かされておりました。今回の思いがけない転勤で
は助産学科新設という大きな目標をいただきました。中
四国管内での助産師育成の中核となる学校として、また、
どんなに変化する時代の中でも、常に人々に必要とされ
る看護者を育成し続ける学校として、微力ではありますが
努力していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいた
します。



放射線技師長 田淵 修一

前任の棟技師長の後任として
して、4月1日付で広島西医療セ
ンターよりまいりました田淵です。
このたびの、岡山医療センター
は、国立岡山病院時代から考えますと、放射線技師とし
ては珍しく同一施設3回目となります。1度目は就職以来

10数年前までの20年足らず。2度目は3年ほど前に2年
ほど勤務させていただいておりました。今回の勤務では、
前技師長の「いつでも笑顔で」の気持ちを引き継ぎ、
チームワークを大切に、新たな気持ちを持って気を
引き締めて努力をしてみたいと思ひておりますので、よ
ろしくお願ひいたします。

新任外来担当医紹介



外科 市原 周治

平成13年卒。
専門：消化器・一般外科。
平成19年4月より外科レジデ
ント、平成22年1月より現職です。
少しでも皆様のお役に立ちたい
と思ひますので、お気軽に御相談ください。
何卒宜しくお願ひ致します。



皮膚科 眞部 恵子

平成17年卒。
このたび、皮膚科医師として御
採用頂きました。将来的に皮膚
腫瘍を専門にしたいと思ひており
ますが、皮膚科全般を幅広く診られるように心がけ
て診療にあたっております。まだまだ至らぬ点も
多々ありますが、どうぞよろしくお願ひいたします。



新生児科 森田 啓督

平成16年に医学部卒業後、当
院にて初期臨床研修医として2年
間、その後小児科後期研修医とし
て3年間、多くの方からご指導いた
だきました。ありがとうございました。
平成21年4月より半年間岡山大学小児科で勤務
した後、このたび新生児科でお世話になることになり
ました。赤ちゃんのために精一杯頑張りたいと思ひま
す。これからもご指導の程よろしくお願ひいたします。



新生児科 中村 和恵

平成5年卒。新生児科では、
主に産科病棟で母子同室で過ご
す赤ちゃんを担当しております。
母乳育児支援をはじめ、全ての赤
ちゃんのご家族がすばらしい子育て
でのスタートを切ることができるよう努力してまいりま
す。どうぞよろしくお願ひいたします。



新生児科 森 茂弘

平成17年医学部卒業。初期、後期研修とも当院でお世話になり今年度から新生児科医として新たなスタートをさせていただきます。

赤ちゃんと家族の幸せを願って頑張りますので宜しくお願い致します。



小児外科 浅井 武

平成14年卒
専門:小児外科一般

1年ぶりに当院に戻ってまいりました。患者様、職員の皆様方に元気を与えられるよう精一杯頑張ります。小児の外科系疾患の事でしたらいつでもご相談ください。よろしくお願い致します。



血液内科 久保西 四郎

平成9年卒の久保西と申します。愛媛県立中央病院、鳥取市立病院、広島赤十字・原爆病院、岡山大学病院を経て、この4月から下野先生の後任として血液内科の診療に当たっております。どうぞよろしくお願い致します。



血液内科 小西 順

平成17年卒業後、岡山労災病院、三豊総合病院での研修を経た後に、平成21年4月より当院血液内科に勤務しております。平成22年4月より常勤職員に採用して頂きました。引き続きよろしくお願い致します。



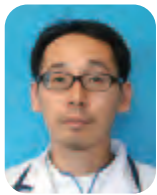
眼科 江木 邦晃

2ページに掲載しています。



眼科 尾嶋 有美

2ページに掲載しています。



循環器科 佐藤 慎二

平成11年卒。本年4月から循環器内科にて勤務させていただきます。

専門は血管病のカテーテル治療、心臓リハビリテーションです。皆様のお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願い致します。



消化器科 石松 義人

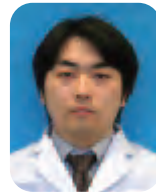
この度、国立療養所長島愛生園兼任医師として採用されました消化器科の石松と申します。平成16年に大学卒業後、平成18年より当院でお世話になっております。消化器疾患全般に渡ってさらに研鑽を積みながら、少しでも皆様のお役に立てればと思います。



産科 塚原 紗耶

平成16年卒で、専門は産婦人科全般です。

当院で初期研修医、後期研修医として勤務後、昨年10月から半年間、埼玉医科大学国際医療センター婦人科腫瘍科で婦人科癌を勉強してきました。よろしくお願いいたします。

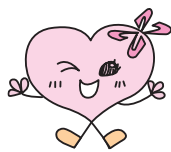


麻酔科 鈴木 聡

平成14年卒。専門は麻酔、集中治療です。岡山大学病院から赴任してきました。手術室、ICU業務を中心に日々精進しております。周術期管理でお困りの際は気軽に声をかけてください。

麻酔科 前田 麻里

麻酔科 前田麻里です。昭和63年鳥取大学麻酔科入局。結婚後、平成6年に岡山大学麻酔科に入局しました。よろしくお願いいたします。



整形外科 橋本 敏行

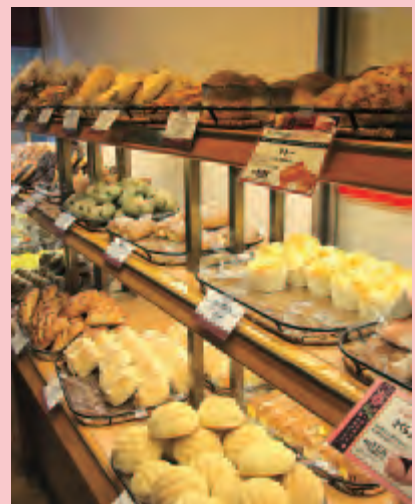
平成3年卒
専門 整形外科 脊椎脊髄外科
今年4月より当院で勤務しております橋本と申します。整形外科領域の中でも脊椎脊髄外科を中心に診療を行わせて頂いております。微力ではありますが、皆様のお役に立てるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

NEW SHOP OPEN!!

ポンパドール開店!

医療センターの外來フロアを結ぶエスカレーターに身を任せたあなたは、突然からだ全体に絡み付いてくる甘くふくよかなバターのにんにくの香りに、一瞬めまいを覚えるかもしれません。この香りの元はいったいどこ?と鼻を頼りに行き着く先は、この春一階に開店した、ポンパドール医療センター店なのです。パン屋さんの店頭で、運ばれてきたばかりの焼きたてのパンを、どれにしようかなと選ぶ時、誰でもウキウキワクワク童心に返るものですよ。開店初日から、クロワッサンを山ほど赤い袋に詰め込んで、嬉々として帰っていく人々で賑わっています。病院にも夢と楽しさを運んでくれる焼きたてパン屋さん。みなさん、買いすぎに注意しましょうね!

(大森 記)



開院記念日記念講演会



『医療の課題』

社会福祉法人旭川荘 名誉理事長 江草 安彦 先生



江草先生は1926年（大正15年）生まれであり、総合医療福祉施設の旭川荘の創設以来、ずっと社会福祉、障害者支援を約60年間行ってこられた先生です。天を敬い人を愛する旭川荘の精神の権化のような、穏やかな感じの先生でした。人を引きつけるウイットに富んだお話に引き込まれていきました。

江草先生は岡山医療センターの前身、国立岡山病院の故山内逸郎先生の後輩で、山内先生の逸話を聞かせてくださいました。江草先生にとって山内先生は医師になったの最初のオーペン（上級医）であり、岡山大学病院では手取り足取り指導してくれたこと、山内先生の熱心さ、優秀さを熱く語られました。また、国立岡山病院に山内先生が移られてからも、当院とは縁が深く、4人のお子さんはすべて当院でお生まれになったとか。

先生は、医療の日常の一こま一こまを自らの体験をもとに、感動した場面をいくつか話してくださいました。忘れることのできない看護師さんのやさしい笑顔。手術室で流してくれた自分の好きな音楽。



名医でない研修医でも、心遣いひとつで患者・家族に満足感を与えることができること。新人の皆様も、わたしも今日からできると感じとったと思います。『医療の課題』という題でしたが、医療は昔と比べて良くなっている。決して崩壊などしていない。大切なことは、一人一人が他人の心を思いやり、気を配れば自ずと医療を改善することができると感じました。

約1時間のお話は、あっという間に過ぎ、さわやかな感じが残りました。（白井記）



院長賞を受賞して

臨床検査科技師長 榎本 泰明

この度、栄えある院長賞を戴き誠にありがとうございました。昨年4月当センターに着任した時の挨拶が「院長賞を目指し業務に邁進します!」と公言しましたので、無謀な責務を抱えた一年と相成りました。まずは、施設理念遵守と5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）推進から始め、年間計画として4視点（財務・内部プロセス・患者と臨床・学習と成長）の検証から、11項目の

改善目標を抽出しスタッフ全員で取り組みました。



結果、目標達成率は89%となり、付加価値として意思統一や共有認識も創生されました。これら業務改善取り組みに対する評価を戴き、より一層効果効率的に進化したいと思っています。今後共宜しくご指導ご鞭撻を願います。

看護学校通信 Vol.1

新年度が スタートしました。

看護学校教員 吉川 明美



去る3月26日に、卒業生第9期生125名が受験した第99回看護師国家試験の合格発表があり、当校は合格率99.2% (全国合格率89.5%) とすばらしい結果でした。卒業生の皆さんにおかれましては、これからも岡山看護学校の卒業生としてご活躍されますこと心よりお祈りしております。

さて随分日差しも暖かくなり、春の陽気に心地よい日々が続いております。学校は、4月8日に第12期生の入学式を挙行し、めでたく120名の看護を目指す若人達を迎え新たなスタートをきりました。入学生達は親元を離れ、新たに寮生や一人暮らしを始めた方も多く、皆不安を隠しきれない緊張の面持ちでした。学校長の三河内先生より心温まるお言葉をいただいたり、お忙しい中ご出席いただいた来賓の方々より祝辞をいただき、きっと看護学生としての一步を踏み出す勇気もらえたことと思います。

4月28日には12期生を迎え、全学年369名で親睦会を開催しました。あいにく当日は朝から雨で、例年であれば屋外での行事ですが体育館での開催となりました。学生自治会役員を中心に入念な計画と準備のおかげで、1年生から



3年生まで学年を越えて交流を図り、楽しい時間を過ごすことができました。学生達は、それぞれのグループでエネルギーギッシュに競技に参加したり、元気いっぱい掛け声かけたり応援し合うなどしました。日頃とはまた違う明るく活気のある学生の一面を感じつつ、今年も元気でみんなが助け合い頑張れる一年にしていきたいと思いました。

リソース ナース室 通信 Vol.5

リソースナース室では、年4回、専門看護師、認定看護師の仲間を増やすこと、また病院全体の看護の質の向上を目指すことを目的に、シンポジウム、それぞれの特定分野の研修会を企画・開催しています。これまでに『認定看護師になるために』というシンポジウム、『緩和ケアの基本』『皮膚ケア』『わかる!できる!自信がつく!聴診の基本』という研修会を開催しました。今回は3月に開催した『わかる!できる!自信がつく!聴診の基本』という研修会の様子を紹介したいと思います。

重症集中ケア認定看護師 福光 明美



まずは講義を聴いて…



実際に聴診!
意外に正常な呼吸音で小さな音なんだな…

皆さん。
こんなことをやってほしい! というリクエストを
お待ちしております!

11F

がん患者サロンのお知らせ

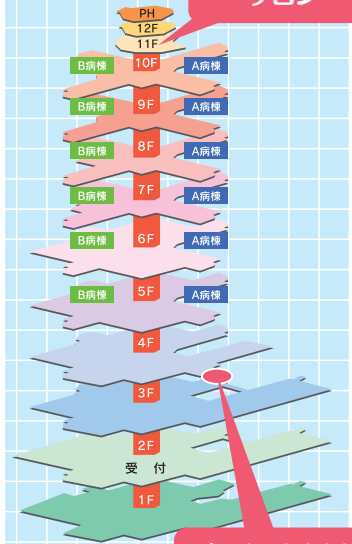
がん患者さまやご家族を対象にサロンを開催いたします
 どうしていいかわからない…
 誰かに話を聞いて欲しい…
 そんな不安な気持ちをひとりで抱えず
 そっとお話ができる場所です
 同じ悩みを持つ参加者どうし
 交流を深めましょう
 緩和ケア認定看護師と
 医療ソーシャルワーカーも在室しています
 どうぞお気軽に“サロン”へお越しください

参加費無料

日 時：平成22年6月25日(金) 10:00～12:00 (出入りはご自由にどうぞ)
 場 所：岡山医療センター 11階
 対 象 者：当院で診療を受けておられるがん患者さま・そのご家族
 参加方法：当日受付
 お問い合わせはがん相談支援センターまで

駐車券ご利用の方は、
会場までお持ちください。
無料処理をいたします。

がん患者
サロン



がん相談支援
センター



3F がん相談支援センター



患者さまやご家族、あるいは県民の方々からのがんに関する疑問や不安、悩みに対応する相談窓口として「がん相談支援センター」を設置しています。

受付時間：9時～17時（土日祝日を除く）
 場 所：岡山医療センター 3階 がん相談支援センター
 上記時間帯のうち午前中はスタッフが在室しています。
 午後また不在の場合は総合案内②番窓口まで。
 お電話の場合は下記連絡先までご相談ください。



3階平面図

がん相談支援センター TEL086-294-9911 (内線)8076

～地域医療連携室～ 連携診療施設紹介



山中医院 院長 山中 慶人

内科、小児科、放射線科の無床診療所です。なお本年8月より、新たに水曜日の午後を休診とさせていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

住 所 岡山市北区御津野々口435
 電 話 0867-24-0201
 診療科目 内科、小児科、放射線科
 休 診 日 日曜、祝日

特 色

- 循環器を専門に胃や肺がん健診を行っています。
- 往診もいたします。

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●
15:30～18:00	●	●		●	●	





貧血予防レシピ①

かつおの たたきのサラダ 〜手作りドレッシング〜



【材料】

- カツオのたたき 140g
- 野菜 お好みのもの

A ドレッシング

- ◎オリーブオイル 大2
- ◎白ワインビネガー 大2
- ◎レモン果汁 大1
- ◎にんにく 1片
- ◎マスタード お好みの分量

1人前
カロリー:185Kcal
鉄分:1.5mg

【作り方】

- ① カツオのたたきを3〜5mmの斜め切りにします。
- ② ドレッシングを作ります。にんにくはみじん切りにしておきます。
Aの材料をボールに入れ混ぜます。
- ③ お好みの野菜をお皿に盛り、①のカツオのたたきを上にのせます。
- ④ 最後にドレッシングをかけて出来上がりです。



カツオの話

これからが旬を迎えるカツオ。これが『初鯨』と言われるもので、秋に脂をしっかりと蓄えたものを『戻り鯨』と言います。かつおは魚の中でも鉄分が多く、特に血合いの部分にはより多くの鉄分が含まれています。また血を造るのに欠かせないビタミンや良質なたんぱく質を含み、貧血予防の強い味方になってくれます。

栄養管理室 PRESENTS!

貧血予防レシピ②

ひじきの 混ぜご飯



【材料】

- ご飯 1合
- 惣菜のひじきの煮物 50g
- みつば 適量

【作り方】

- ① 炊飯したご飯に分量のひじきの煮物を、炊飯器の中に直接入れ混ぜ合わせます。
 - ② そのまま10分ほど蒸らします。
 - ③ お茶碗に適量を盛り付け、みつばで飾って出来上がりです。
- ※みつばの代わりに、青じそやグリーンピースでもおいしいですよ。

お茶碗一杯
カロリー:312Kcal
鉄分:2.4mg



POWER
UP!!
RECIPE

レモンの果汁を入れた野菜のマリネです。

レモンに含まれるビタミンCには、鉄の吸収を促進する働きがあります。このご飯にはこんなおかずを組み合わせるとは?

ひじきご飯で鉄分を強化したら、吸収率もさらにUPさせましょう!!

地域医療研修室

セミナー・講演会 (7月)

会場: 当院4階大研修室
時間: 19:30~20:30

日程	種別	演者
7月13日(火)	第32回薬剤師研修会 神経内科でよく使う処方について	当院神経内科医長 真邊 泰宏
7月20日(火)	第101回初期治療セミナー 当院における バセドウ病アイソトープ治療の現状	当院総合診療科医長 大石 徹也

教育研修部 研修だより

職員班長 野崎 一弘

平成22年度の教育研修部のテーマは「全人的な医療を目指して～チーム医療と医療連携～」としました。職員用に院内Webに掲示する「院内教育研修計画一覧表」も刷新し、また、新たに院内へ掲示板を設置し、翌月の研修予定を張り出す等、多くの職員が受けた研修を計画的に受けられるよう配慮していきます。

今年度の新採用研修を4月2日・5日・6日の3日間で行いました。20人の院内講師による病院概要等の講義のほか、外部講師として元山陽放送アナウンサーの遠藤寛子氏をお迎えし、待遇に関するとても貴重なお話をさせて頂きました。



がんのリハビリテーション研修会

理学療法士 吉田 英樹

緩和ケア対策室研修会の1回目を、『がんのリハビリテーション』というテーマで、5月20日(木)に実施しました。「がんリハビリ」、まだまだ聞きなれない言葉ですが、その必要性を反映して、院内から74名もの参加がありました。今回の研修会をきっかけとして、がん治療の中にも、「リハビリ」という概念を意識してもらえればと思います。今後、リハビリテーション科としては、「がんリハビリ」の体制を強化していく方針ですので、皆様のご協力、よろしくお願いたします。また、緩和ケア対策室の今後の研修会にも奮ってご参加ください。

臨床研修医募集ウェブサイト、「RECRUIT 2011」新規オープン!

来年度の初期臨床研修医を募集するウェブサイト、「RECRUIT 2011」が新規にオープンしました。[\(http://okayamamc.jp/recruit/\)](http://okayamamc.jp/recruit/)

当院のキャッチフレーズを研修医支援室メンバーで話し合い、「専門性と総合力 臨床研修のすべてがここにある」とし、それをもとに、今回見直した初期臨床研修プログラムに関する説明を加えています。今後、当サイトにて後期研修医の募集も始める予定です。

研修医支援室長 太田 徹哉 (消化器外科)



編集後記

平成22年春、世の中も、当院も大きな変化の中にあります。普天間問題や口蹄疫に対する政府の対応には、昔、漢文で習った『巧言令色鮮(すく)なし仁』と言う言葉だけでなく、大臣ですら結果責任をとれなくなってしまった、『武士道精神の消滅』を嘆息せずにはいられません。こんな中、大関魁皇の静かなる1000勝は、忘れかけていた大和魂を揺さぶる、背筋の伸びるような感動を与えてくれました。画家、岡本太郎の言葉を集めた『強く生きる言葉』という本からの一節:『あっ、すごい!という感動を起爆剤にする。自分の内部に起こったこの炎のような衝動。そして、よし、おれもという気持ちになれば、完全にエネルギーがスパークすることになる』。新入職のみならず、われわれ“ベテラン”も、日々の活動の中に何かしら小さな感動を見つけながら、スパークスパークスパークで進化し続けたいものですね! (大森 記)